

教採合格者から後輩へのアドバイス

〈小学校①〉

教育学専修 鈴木一平

私が小学校教員採用試験に合格できた要因は二つあると感じています。

一つ目は、周囲の人々の存在です。同じ大学の友人だけでなく、他大学の友人とも教育に関わる情報の共有や面接練習を多く行ったことで様々な視点から学ぶことができました。また、大学の実務家教員の先生方には何度も論文の添削や面接練習をしていただき、回数を重ねることに自信をつけることができました。

二つ目は、学校現場での経験です。私は大学二年生の頃から採用試験に合格した今も、地域の公立小学校で学習支援ボランティアをしています。現場で活躍されている先生方の授業や、児童間のトラブルの対応など、日々学ぶことが非常に多いです。埼玉県の面接では実際の場面を想定した声掛けや指導内容について問われますが、子供と関わった経験が多いほどより中身のある充実した受け答えができる実感しています。

多くの人から積極的に学び、仲間と協力し支え合いながら試験勉強を進めてください。皆さんの合格を心から願っています。

〈小学校②〉

特別支援教育コース 近藤 梨乃

私は夢講座生のため、小論文と面接での受験でした。そこで、特に面接対策で力を入れたことを紹介します。

一つ目は、アシスタントティーチャーの活動です。受験したさいたま市では、教科指導や場面指導などリアルな質問が多いため、学校現場での学びを大切にしています。子供や先生方とのやりとりを通し、場に即した対応や指導を学ぶことができ、回答に説得力をもたせることができましたように思います。

二つ目は、様々な人と面接練習をすることです。私は、教職セミナー、個別相談、夢講座と大学推薦との合同練習、友人企画の面接練習、家族との練習など多くの人と練習を重ねました。私は面接が大の苦手でしたが、徐々に苦手意識が減り、それなりの自信をもてるようになりました。面接は場数を踏むことが鍵だと思います。

「教員採用試験は団体戦」これは、先生方が口を揃えておっしゃることです。教員採用試験を通して、私はこの言葉の重みを実感しました。みなさんが希望の進路に進めるよう応援しています。

〈中学校①〉

言語文化専修英語分野 小林 葵

「先生になる」という夢を実現するために、私が採用試験対策で重要視したことは二つあります。

一つ目は、実体験を伴う学びを大切にすることです。「かがやき教師塾生」のため一次試験は免除されましたが、その分学校実習に真剣に取り組みました。毎週の実習で教育現場の実態を学ぶと共に、授業実践では自身の専門性を向上させるべく、念入りに教材研究に励みました。継続的に教育現場に関わることで、採用試験に必要な知識と、教師になってから必要な力を身に付けることができました。

二つ目は、仲間との対話を大切にしたことです。面接練習で質問されたことや、論文対策で分からなかったことなどを仲間と共有し、一緒に勉強しました。また、集団討論の練習を他大学の人も一緒に行いました。仲間との情報共有を充実させたため、自分にはなかった視点を獲得ことができました。

採用試験を通して、同じ夢をもつ沢山の仲間に出会うことができました。机に一人で向かう試験対策だけでなく、自身の体験や他者との協働を充実させたことが良い結果につながったと思います。みなさんも仲間と共に、最後まで諦めずに頑張ってください。応援しています。

〈中学校②〉

自然科学専修理科分野 川越 皆輝

私が教員採用試験のために取り組んだことを二つ紹介します。夢講座を受講し一次試験免除のため主に二次試験向けの取組となりました。

一つ目は、個人での取組です。公的な文書については、基礎的な知識と国や自治体の動向を知るために意識的に読み込みました。その知識は、小論文や面接に臨む際の基盤になりました。教科の専門知識については、教科書を使い、高校の基礎科目までの内容は説明できるようにしました。実際の面接では、高校の基礎科目の内容も問われました。

二つ目は、仲間との取組です。八つの大学の夢講座の有志が集まり、週に一、二回面接練習を行いました。仲間と学び合うことで、自分にはない考え方や実践を知る機会になりました。また、練習と振り返りを重ねることで面接への自信がもてるようになりました。同じ志をもつ仲間と切磋琢磨したことは心強く、貴重なものでした。私が教員採用試験に合格できたのは、支えてくれた人や仲間の存在が大きいです。セミナーや個別相談など大学の教職支援にもお世話になりました。皆さんも支えてくれる人や仲間を大切にしながら、夢が実現するよう願っています。

〈高等学校〉

自然科学専修数学分野 西村 尚輝

私は埼玉県の高等学校の教員採用試験を受けました。この経験を踏まえ、皆さんに微力ながら対策についてお伝えしようと思います。

一次試験に関しては、過去問や問題集を繰り返し行いました。私は専門科目に日頃から触れていたため、あまり勉強時間を確保しませんでした。しかし、時間を確保すべきだと思います。また埼玉県は一般教養の問題の比重が高くなっているため、過去問演習の量が高得点への鍵となります。

二次試験は、小論文・集団討論・個人面接・集団面接と多様な試験方式ですが、試験突破に必要である大事な要素が二つあります。「教育者として核となる信条・考えをもつこと」、「落ち着いて余裕のある言動をとること」です。これらを意識して普段の練習及び試験に取り組むことが重要です。面接練習などでは面接官からの質問とそれに対する返答を想定するという練習がよくありますが、個人的には相手の質問に対して即座に意見を述べる事が出来る状態にしていくことを第一にするべきだと思います。

自分の将来に関する事で不安な気持ちでいっぱいだと思います。最後まで諦めずに努力し続けてください。応援しています。

〈特別支援学校〉

特別支援教育コース 永野 遥

私が教員採用試験当日まで取り組んだ学習の中で、特に効果的だったことをご紹介します。

まず、情報収集です。受験する自治体の教育理念や施策、最新の教育ニュースを確認します。そうすることで、自身の考えと教育課題を結び付けて述べる力を身に付けることができました。

次に反復学習と仲間との面接練習を並行して行うことです。例えば論文対策では、時間感覚と論文の型に慣れるために、同じテーマの論文を複数回書くようにしました。具体的には、論文添削後に時間制限を設けずに再度書き、さらに数日空けて書く、という方法を繰り返し行いました。また、面接対策では、複数の教授対策グループを活用し、練習を積み重ねました。様々な人と練習することで、視野が広がり、自分を客観視することができ、練習後は、質問内容や自分の回答を振り返り、確認すべき事項をリスト化し、参考書や自治体の資料等で調べ、ノートにまとめる作業を続けました。

試験にあたり、不安な気持ちを抱いている方もいるかも知れません。しかし、多くの人との関わりを大切に、繰り返し練習を積み、きつと大丈夫です。夢に向かう皆さんのことを応援しています。

〈幼稚園〉

乳幼児教育コース 佐野 凜花

特別区公立幼稚園の採用試験に向けた私の取組を紹介させていただきます。

まずは過去問と教職支援室にある資料から情報を集めました。一次試験の筆記は、幼稚園教育要領を読み込むことと過去問で対策をしました。論文は、過去問を解き、セミナーの先生にご指導いただきました。

その過程で自分の保育観や教師観について再度考えたことは自分にとって大きな学びでした。また、ある程度型を固め、本番時間内に書き終えることを意識しました。二次試験の面接は、私なりの言葉で伝えられるよう、定番の質問を中心に自分の考えをノートにまとめました。面接は苦手意識があったので、これだけ練習したから大丈夫と思えるまで先生方にご指導いただきました。弾き歌いは、とにかく楽しく歌うことを意識し練習しました。模擬保育は、セミナーの皆の前で本番と同じように練習をさせてもらいました。恥ずかしさもありますが、目の前に子供たちが居ると想像することが重要だと思います。

これから沢山の子供たちと出会うことを楽しみに、息抜きを大切にしながら、皆さんのもつ力を出し切ってください。応援しています。

〈養護教諭〉

養護教諭養成課程 関口 陽弓

養護教諭の教員採用試験に向けて特に取り組んで良かったと感じたことを紹介します。

まず、一次試験対策では参考書や過去問に諦めず向き合いました。問題を繰り返し返し解き、基礎的な力と自信をつけることが合格への一番の近道だと思います。苦手な部分や頻出問題をまとめたノートを作成し試験直前に確認することで気持ち落ち着かせました。

二次試験対策では多くの人の力を借りながら取り組みました。小論文や面接は正解がなく一人では壁にぶつかってしまっています。友人や先生方に見てもらい具体的な改善点や自分の良い点を知ることによって成長することが出来ました。自らの健康観や養護教諭になりたて相手へ届けるのは非常に難しいことです。面接でも小論文でも伝える相手がいることを常に意識し練習することで言葉選びや面接態度の向上につながると感じます。

試験に向けて勉強している間、人と比べて落ち込むことも多かったです。最後まで頑張る勇気をくれたのも努力し続ける仲間でした。積み重ねた力は必ず自分の財産になります。私も勉強し続け素敵な養護教諭を目指します。一緒に頑張ります。応援しています。